

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月15日

神戸市 殿

提出者

住 所 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬1369番地
 氏 名 タマホーム株式会社 神戸支店 田中 悠太
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 078-977-0390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タマホーム株式会社 神戸支店
事業場の所在地	兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬1369番地
事業の種類	06: 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1055	全処理委託量	1055
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	53
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	876
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の〔別紙〕

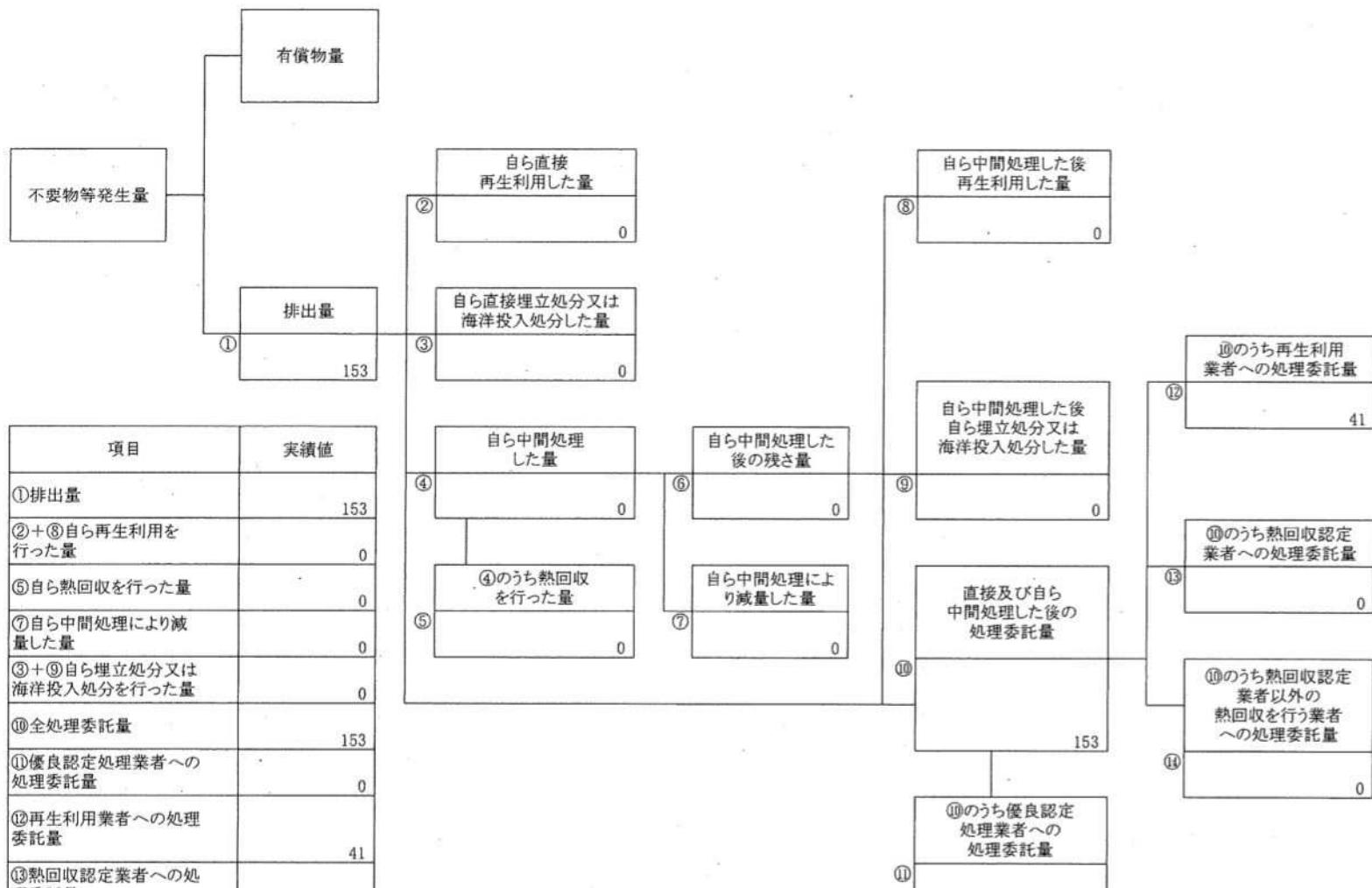
提出者名					
住所	名 称	担当課	担当者名	電話番号	FAX
近畿地方整備局が運営する事業場を設置して運営する支店等 の住所	近畿地方整備局が運営する事業場を設置して運営する支店等 の名称	近畿地方整備局の電話番 号	近畿地方整備局の氏名	近畿地方整備局の電話番 号	近畿地方整備局のFAX番 号
名瀬農林戸小西郡伊川谷町新屋424番地	タマニーム株式会社	神戸支店	田中 勝太	078 977 0390	078 977 0395

産業廃棄物の種類	提出量	計画の実施状況										主な取扱い方法	主な取扱い方法	
		自ら保管 又は利用した量	自ら中間処理 又は輸出業者に譲り受けた量	自ら中間処理 又は輸出業者に譲り受けた量	自ら中間処理した後 又は輸出業者に譲り受けた量									
コート	5t	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
ゴミ袋 資源回収切の種目	発生した資源変更の 荷役ごとの量	1の量のうち、自ら保管 又は利用した量	1の量のうち、自ら中間 処理を受ける場合 又は輸出業者に譲り受け た量											
1 1300 ①ガラス・陶磁器くず	153				0		153	41						0 0
2 600 ②陶プラスチック	154				0		154	80						0 0
3 1200 ③金属くず	64				0		64	64						0 0
4 700 ④紙くず	87				0		87	49						0 0
5 800 ⑤木くず	257				0		257	120						0 0
6 1322 ⑥石膏ボード	46				0		46	46						0 0
7 1339 ⑦がれき類	47				0		47	0						0 0
8 110 ⑧樹脂くず	0				0		0	0						0 0
9 ⑨					0		0	0						0 0
10 ⑩					0		0	0						0 0
11 ⑪					0		0	0						0 0
12 ⑫					0		0	0						0 0
13 ⑬					0		0	0						0 0
14 ⑭					0		0	0						0 0
15 ⑮					0		0	0						0 0
16 ⑯					0		0	0						0 0
17 ⑰					0		0	0						0 0
18 ⑱					0		0	0						0 0
19 ⑲					0		0	0						0 0
20 ⑳					0		0	0						0 0
合計	778	0	0	0	0	0	778	403	0	0	0	0	0	0 0

(注1)トン未満は四捨五入。ただし、数半が未満であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の挙出実績があった場合は、必ず記入し、並びに記入欄に記入してください。

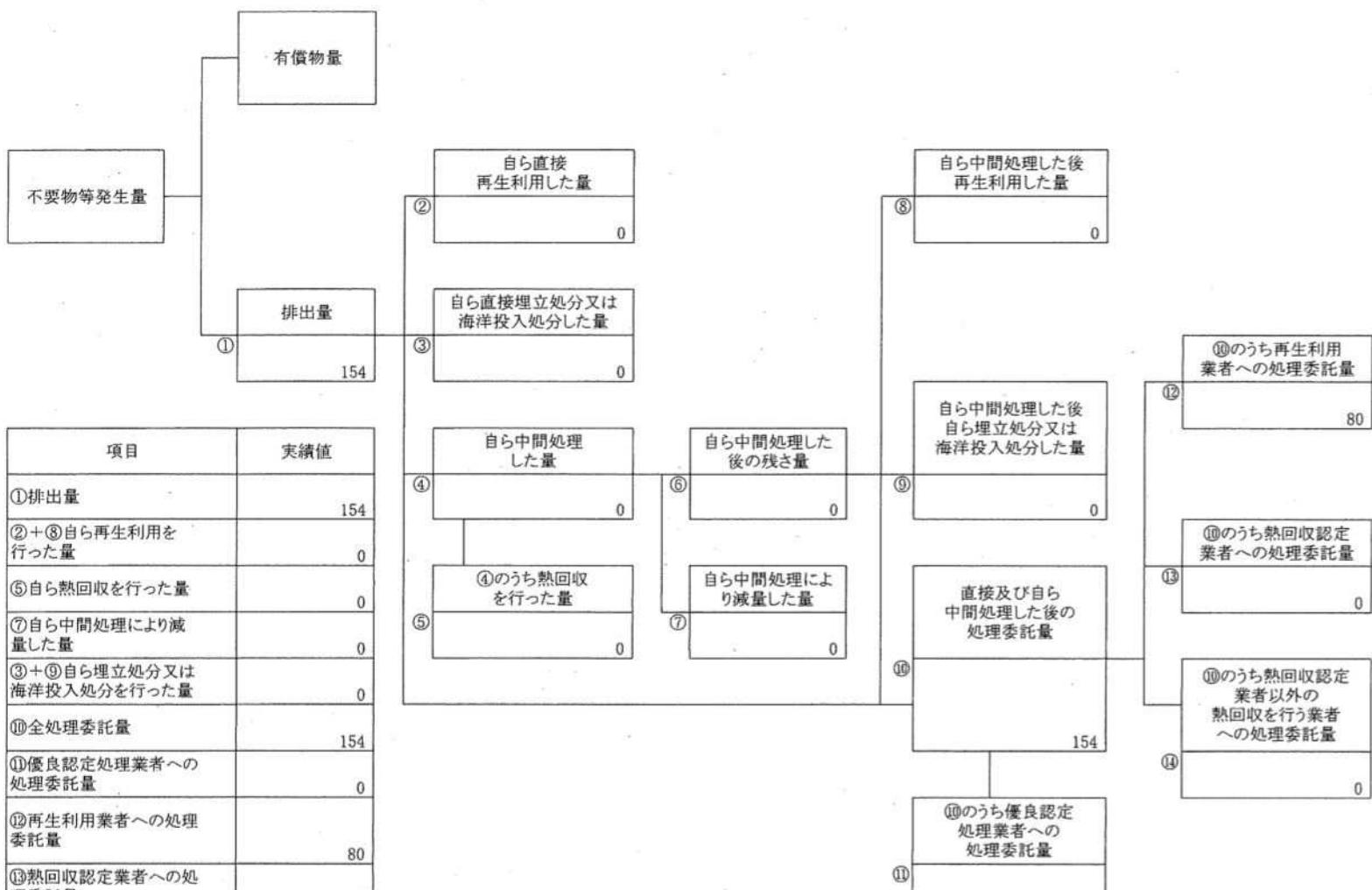
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①ガラス・陶磁器くず)



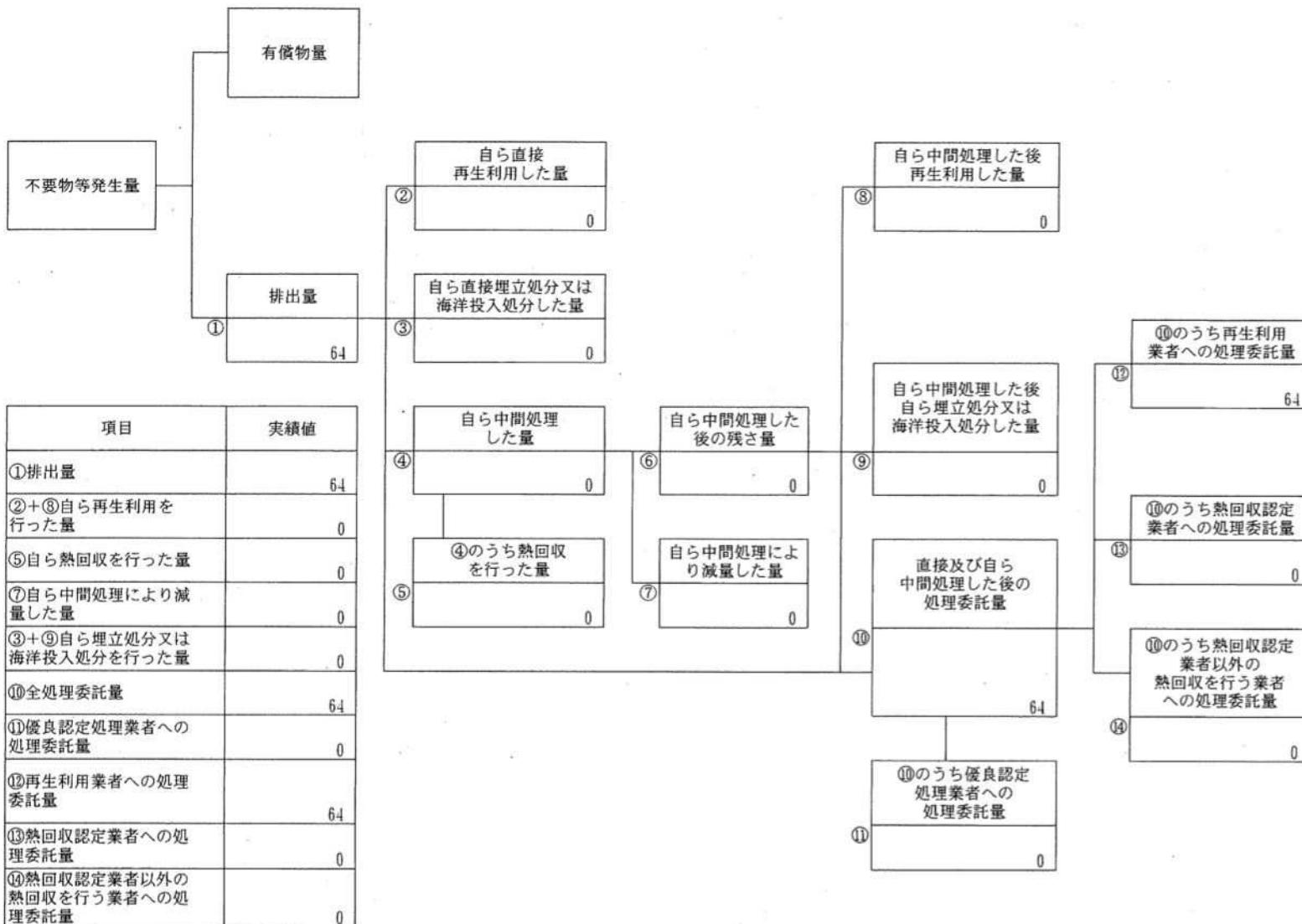
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②廃プラスチック)



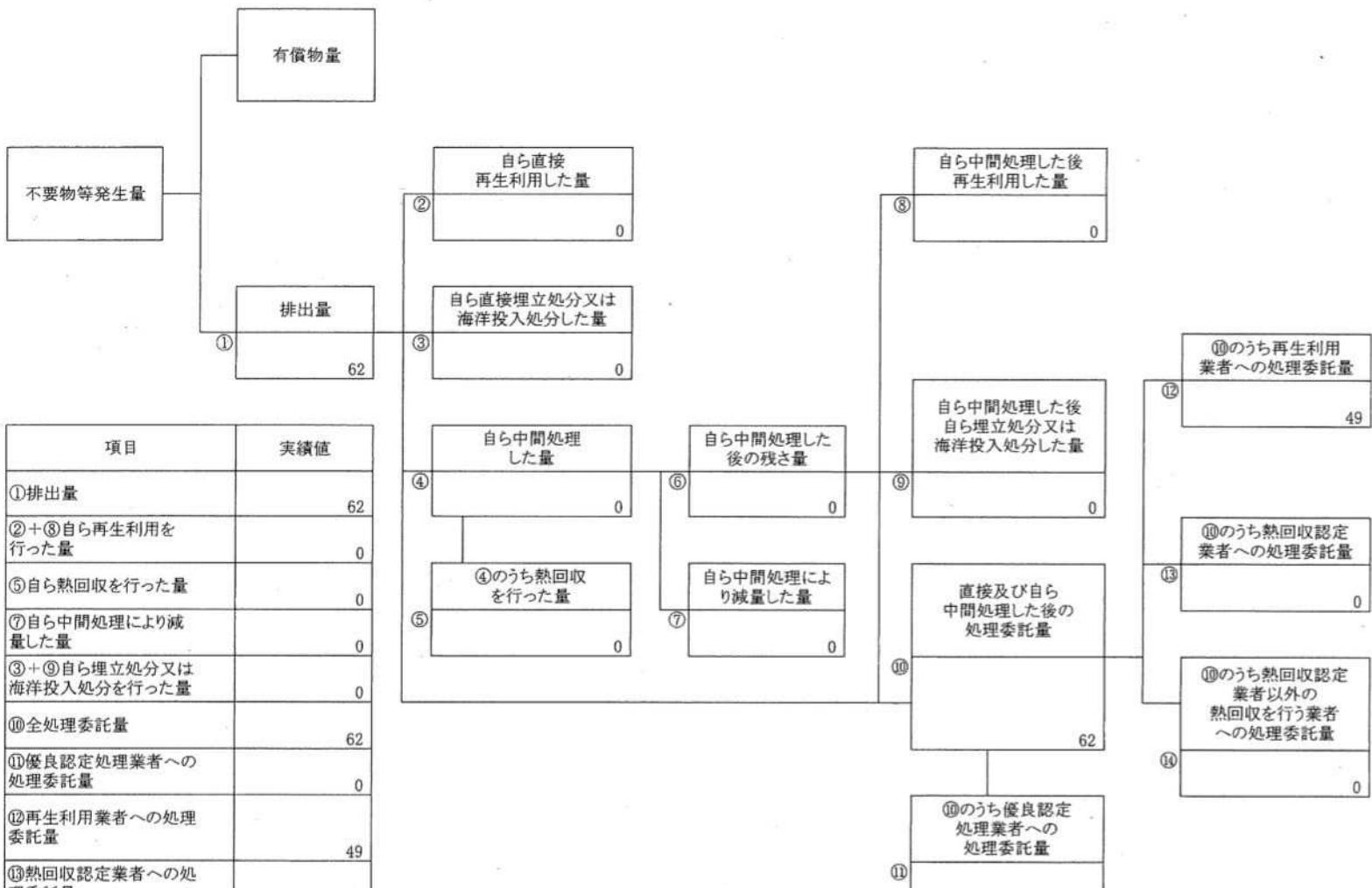
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③金属くず)

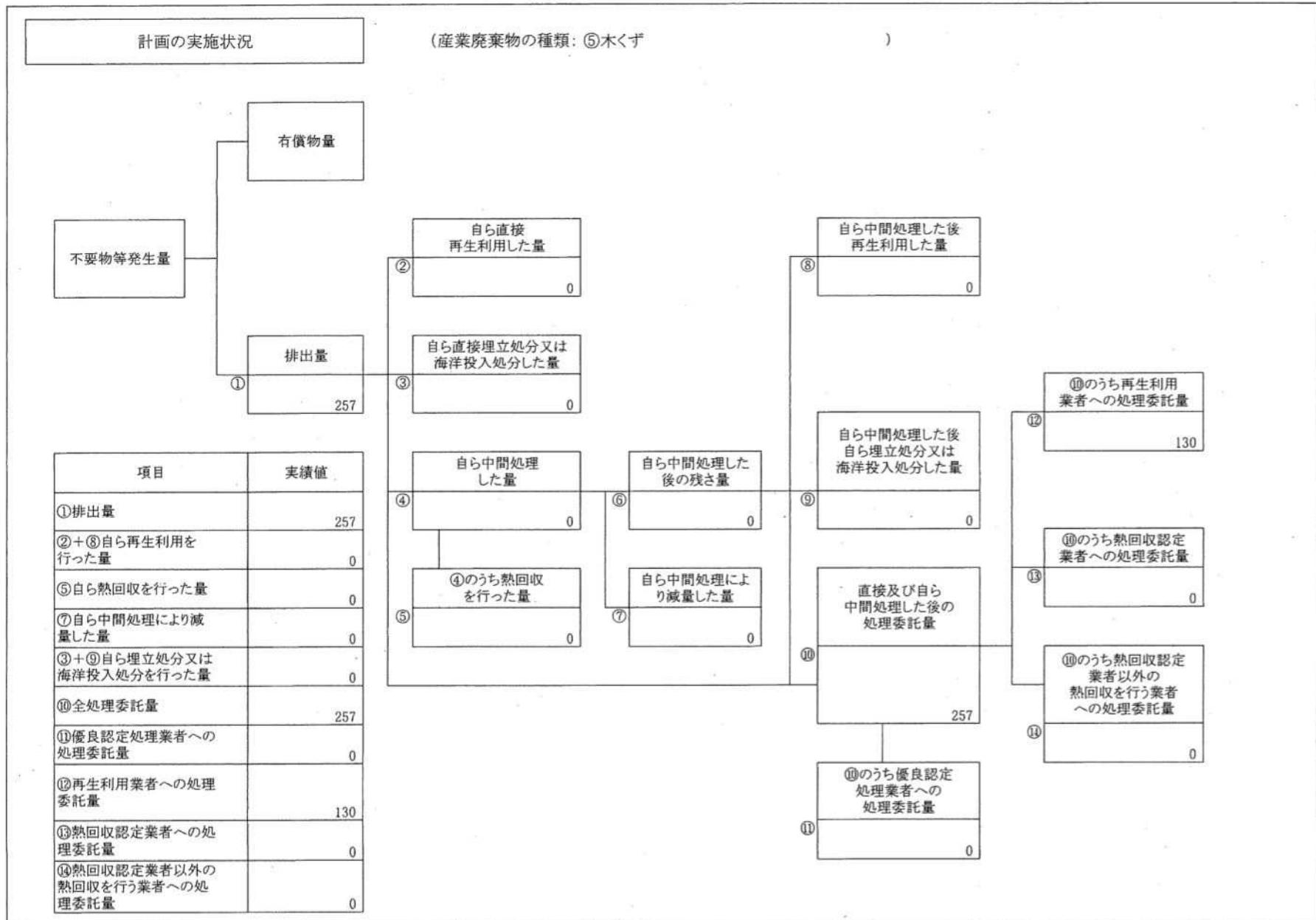


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④紙くず)

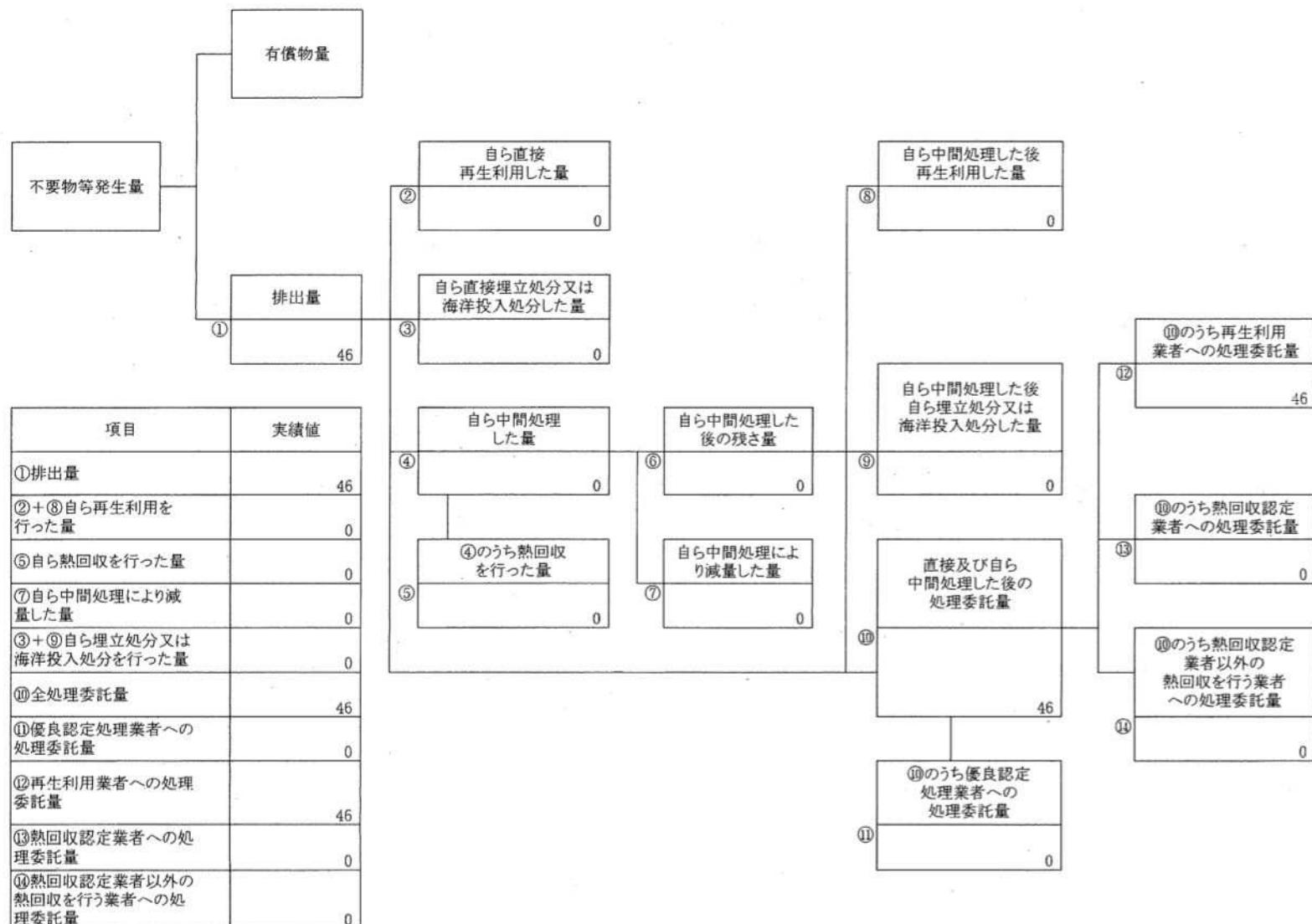


(第2面)



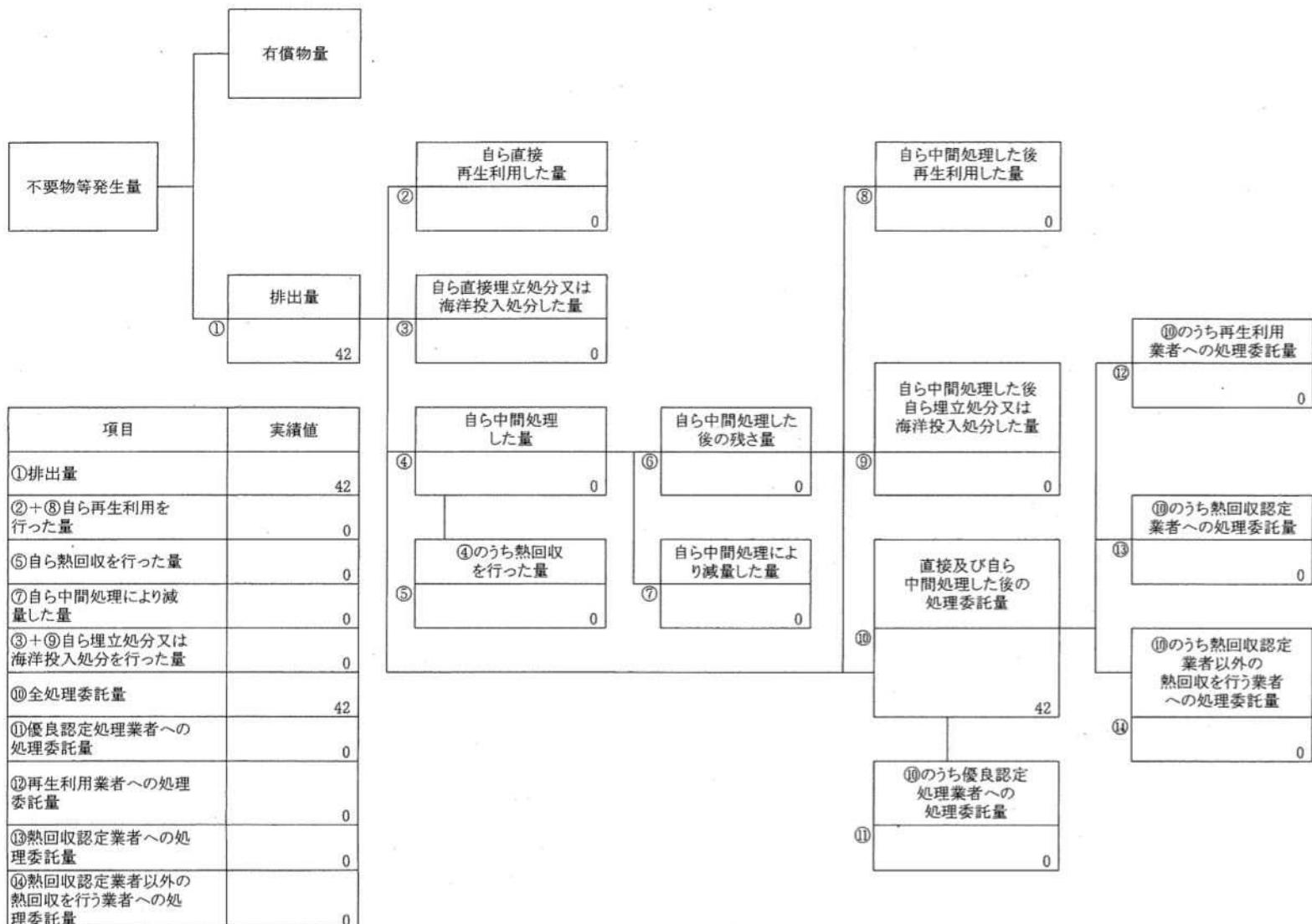
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥石膏ボード)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦がれき類)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。